福高NOW
福島高校通信

私たちが中心となって、
福島高校を
より魅力的な学校にしていきます！
応援よろしくお願いします！

新生徒会役員が決定

6月に生徒会役員選挙が行われ、新生徒会役員が決定しました。2年生5名、1年生3名が当選し、早速多くの仕事に取り掛かってくれています。これから、クラスマッチに文化祭、体育大会と忙しい時期が続きますが、生徒会役員で福島高校をさらに盛り上げていきたいと思います。

校外活動としては、7月に防災研修、9月には高校総合文化祭に参加してきます。研修会場で他校の生徒としっかりと交流をして、福島高校をさらに良い学校に変えていけるよう取り組んでいきます。

福島高校文化祭・体育祭「樹祭」

8月29日(木)～31日(土)に樹祭文化の部・体育の部が開催されます。場所は、文化の部が串間市文化会館、体育の部が福島高校グラウンドです。今年のテーマは、「青春～最高の思い出を最高の友と＃アオハル～」に決定しました。各クラスが自分たちの「青春」を合唱、劇、映画そして各競技で串間に伝えます！ 生徒全員で作り上げる最高の樹祭をぜひ見に来てください！

これが私たちの「青春」だ！ 福島高校「樹祭」！

年金トピック Nenkin Topic

国民年金老齢基礎年金の繰上げ受給と繰下げ受給について

◎繰上げ受給

希望すれば60歳から65歳になるまでの間に繰り上げて老齢基礎年金を受け取ることができます。繰上げ受給の請求をした時点(月単位)に応じて年金が減額され、その減額率は一生変わりません。

《主な注意事項》
- 事後重症などによる障害基礎年金や寡婦年金を受け取ることができません。
- 任意加入や保険料を追納することができません。
- 特別支給の老齢厚生(退職共済)年金の定額部分が一部支給停止されます。
- 繰上げ受給を取り消すことができません。

◎繰下げ受給

希望すれば66歳以降から繰り下げて老齢基礎年金を受け取ることができます。繰下げ受給の請求をした時点(月単位)に応じて年金が増額され、その増額率は一生変わりません。

《主な注意事項》
- 70歳に達した月を過ぎて請求を行っても増額率は増えません。
- 66歳に達した日以降の繰下げ待機期間中に、他の公的年金の受給権を得た場合には、その時点で増額率が固定されます。

問 / 市民生活課市民係　☎内線 225・226　　都城年金事務所　☎0986-23-2571

BOOKS
今月のおすすめ

今月のテーマ展示
「戦争・平和」特集

戦争の悲惨さを忘れることなく、平和の大切さを改めて考えましょう。8月1日～3日は戦争に関する資料・パネルを会議室にて展示しています。

『きょうふのしりとり』
武田 美穂／作

「こわいもの」で、しりとりしよう！ようかい、いど、どろぼう、うらめしや、やまんば…。こわいのに、笑っちゃう ？ しりとりの「あるある」を面白おかしく描いた、こわくて楽しい、しりとり絵本。

『希望の糸』
東野 圭吾／著

死んだ人のことなんか知らない。あたしは、誰かの代わりに生まれてきたんじゃない－。ある殺人事件で絡み合う、容疑者そして若き刑事の苦悩。どうしたら、本当の家族になれるのだろうか。書き下ろし長編ミステリー。

お問い合わせは図書館まで！

８月のイベント情報

「夏休み時間拡大のお知らせ」
7月23日(火)～8月23日(金)
夏休み期間中の平日の朝を30分早く開館いたします。
平日のみ、9時半開館になります。土日は10時開館です。

「空調工事に伴う休館について」
8月26日(月)から8月30日(金)まで、空調工事のため休館いたします。

【新刊情報】

○一分(坂岡真／著)○家康謀殺(伊東潤／著)○生のみ生のままで(綿矢りさ／著)○源平の怨霊(高田崇史／著)○出身成分(松岡圭祐／著)○いるいないみらい(窪美澄／著)○旧友再会(重松清／著)○余物語(西尾維新／著)○ガラスの城壁(神永学／著)○緋の河(桜木紫乃／著)○亥子ころころ(西條奈加／著)○ノーサイド・ゲーム(池井戸潤／著)○じじばばのるつぼ(群ようこ／著)　その他多数

串間市立図書館
串間市大字西方6524-58
ＴＥＬ　0987-72-1177
ＦＡＸ　0987-72-0803
開　館　午前10時～午後6時
休館日　月曜日
HP　http://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html

豊かな日々を
Life
ライフ

みんなが主役
ふるさと串間のために

多様性を認める地域づくり

鹿児島県姶良市のＮＰＯ法人Ｌかごしまは、地域づくりの先進的な取り組みをしている。吉村哲朗代表と地元の自治公民館長と2人で「地域で困っている人を我々の手で助ける方法はないか」というシンプルな考えからスタートした。主な活動は平成26年度から地域の空き家を利用した「ひまわりハウスたかちほ」の開設にある。これは誰もが気軽に利用できる憩いの場を提供するとともに、活動を通して地域住民が主体となり地域の課題を解決することが目的だ。

多様性な考え方

吉村氏は次のように語る。「地域の課題は行政だけに任せていても解決するものではなく、地域住民にその必要性を感じてもらうことが重要になります。そのために、ひまわりハウスを開設し、近年希薄化している地域住民同士のつながりを再構築し、地域住民が主体となって課題解決を図ることで、安心して暮らすことのまちづくりに取り組むことができると感じています」

ひまわりハウスは基本的に毎週火曜日から金曜日までの午前10時から午後４時まで地域に開放している。現在では市内に８カ所存在している。高齢者をはじめとする地域住民が気軽に集い、地域コミュニティが多様な人たちで構成されていることを体感できる場として、地域住民自らが運営への参加を自発的に行うことを支援しており、音楽や手芸、囲碁、将棋、パソコンなど、サークル活動も活発に行われている。

一見するとサロンや市外にある地域連携組織の活動と同じに映る。ところが決定的に違うのは、活動内容をひまわりハウスにやって来る地域住民自らの手で作り上げていくということ。通ってくる高齢者は、口をそろえて「通うのが楽しくて仕方ない。みんなと食べる食事はおいしい」と語る。一方、これらの人々を支えるスタッフも、引きこもり経験や障害を持っている人が高齢者を支えている。そこにはまさにダイバーシティ（多様な人を積極的に活用すること）が存在していた。

くしま市民活動交流センター
パナップ
PanerP
串間市大字西方5721-1（旧NSA）
TEL・FAX 0987-72-5123
開館日　平日午前9時～午後6時
メール　hello@panerp.jp
HP　https://panerp.jp